

夜間で病院が開いていない時に、

- ・子どもが高熱を出している
- ・頭を強く打って泣いている
- ・おなかを痛がっている etc...



こんなとき、あなたならどうしますか？

多くの人は、「子どもの心配」と「救急車を呼ぶこと」を考えるといます。特に、初めてのお子さんや小さい赤ちゃんなどでは親(保護者)の心配が強く表れることが多いですが、実際は、救急車を呼んで病院に運ぶ必要はほとんどありません。

救急車を呼ぶ前に…！コールトリアージ！

“コール”は電話、“トリアージ”は分別を意味する言葉です。「電話で傷病者の重症度と緊急性で分別し、治療の優先度を決定する」という意味で、救急では実際に救急車が到着するまでの「応急処置の方法」やアドバイスをしてくれます。

しかし、コールトリアージが救急で行われていることはほとんど知られていません。

コールトリアージを活用すると、こんなメリットがあります。

- ・応急対応法が分かる
- ・病院に到着するまでに必要なことが分かる
- ・安心感が得られる
- ・救急車を有効に使える



救急車は限りある資源です！

山武郡市消防本部中央消防署には救急車が何台あるか知っていますか？台数には限りがあるため、救急者を呼べば必ず来てくれる…とは限りません。一人でも多く、このような知識をもつことで冷静な判断をすることができれば、いざ本当に必要な時に救急車が使えます。

皆さんもコールトリアージを活用してみましょう！



◎くんくま君のコラム◎

初めまして!“くんくま”です。
次号からこのコーナーでは、季節の情報やトピックスについて説明していきます！
よろしくおねがいします☆